

学期 / Semester	2018年度 / Academic Year 前期 / First Semester	曜日・校時 / Day・Period	火 / Tue 1
開講期間 / Class period	2018/04/01 ~ 2018/09/27		
必修選択 / Required/Elective class	必修, 選択 / required, elective	単位数(一般/編入/留学) / Credits (general/admission/overseas)	2.0/2.0
時間割コード / Time schedule code	20181095175001	科目番号 / Subject code	10951750
科目ナンバリングコード / Numbering Code	EDMC 10011_421		
授業科目名 / Subject	教職の理解 / Understanding of the Role of Teacher		
編集担当教員 / Professor in charge of putting together the course syllabus	楠山 研 / Kusuyama Ken, 篠崎 信彦 / Nobuhiko Shinozaki		
授業担当教員名 (科目責任者) / Professor in charge of the subject	楠山 研 / Kusuyama Ken		
授業担当教員名 (オムニバス科目等) / Professor(s)	楠山 研 / Kusuyama Ken, 篠崎 信彦 / Nobuhiko Shinozaki, 友永 光幸 / Tomonaga Mitsuyuki		
科目分類 / Class type	教職に関する科目, 教職に関する科目(第2欄), 教職に関する科目, 学部モジュール科目, 教職免許科目・2欄, 教職免許科目・3欄		
対象年次 / Year	1	講義形態 / Class Form	講義 / Lecture
教室 / Class room	教養教育A棟21 / RoomA-21		
対象学生(クラス等) / Target students	学部1年生		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	kusuyama@nagasaki-u.ac.jp		
担当教員研究室/Instructor office			
担当教員TEL/Tel			
担当教員オフィスアワー/Office hours	随時(まずメールで連絡してください)		
授業の概要及び位置づけ/Course overview and relationship to other subjects	今日の急激な社会変化の中で、学校教育をめぐる様々な教育課題に適切に対処しつつ充実した教育指導を実現するためには教員の資質向上が必須である。本授業においては、そのような教職の意義についての理解を深め、学校における教師の役割について考察し、その役割を効果的に遂行するために必要な資質について考える。		
授業到達目標/Course goals	<p>教育学部の最初の入門科目として</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・幼児・児童・生徒の発達段階に応じて適切な指導ができる。</li> <li>・教職や教科に関する専門的知識・技能を身につけている。</li> <li>・社会人として必要な能力を身につけ、職場や地域の一員として適切な行動ができる。</li> </ul> <p>についての第一歩となることをめざします。</p> <p>教職についての全体像を表明できること。 現代の児童生徒の実際について表明できること。 現代の教育課題について表明し、自ら探究できること。</p>		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力(1つ以上3つまで)/Ability other than knowledge and skills acquired mainly through lessons (1 to 3)	<p>主体性 / Autonomy 汎用的能力 / Generic Competence 倫理観 / Ethics 多様性の理解 / Understanding Diversity 協働性 / Cooperativeness 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society</p>		
学生の思考を活性化させるための授業手法 / Lesson method to stimulate students' thinking	<p>A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動 &lt;br&gt; / Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over</p> <p>B. 多角的に考えるために他者と関わる活動 &lt;br&gt; / Activities involving others to think from various perspectives</p> <p>C. 技能修得のために実践する活動 &lt;br&gt; / Activities to practice for acquiring skills</p> <p>D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動 &lt;br&gt; / Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems</p> <p>E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法 &lt;br&gt; / Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above</p> <p>F. 教員からの講義のみで構成される &lt;br&gt; / It consists only of lectures from teachers</p>		
成績評価の方法・基準等 / Grading	各教員が指示する方法で評価。 60点以上が合格。		
各回の授業内容・授業方法(学習指導方法) / Class content and format	詳細は授業計画詳細を参照		
事前・事後学習の内容 / Preparation & Review	<p>事前学習 各回に関して、自らの教育体験を振り返り、そこに教員がどう関わっていたか思い出ししておく。</p> <p>事後学習 各回に関して、自らの教育体験を教員の視点で振り返り、理解を深める。</p>		
キーワード / Key word	教師、専門職、学校経営、教育課題		
教科書・教材・参考書 / Textbook, Teaching material, and Reference book	適宜資料を作成し配布する。		
受講要件(履修条件) / Prerequisites, etc.	特になし		
アクセシビリティ / Accessibility (for students with disabilities)	<p>長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員(上記連絡先参照)または「アシスト広場」(障がい学生支援室)にご相談下さい。</p> <p>アシスト広場(障がい学生支援室)連絡先 (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948 (E-MAIL) support@ml.nagasaki-u.ac.jp</p>		

備考 ( URL ) /Remarks(URL)	
学生へのメッセージ/Message for students	学ぶ側から指導・支援する立場に思考や視点を180度切り替えるための科目です。
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
第1回	イントロダクション ( 授業の趣旨・概要の説明 )
第2回	現代の子どもの実態
第3回	専門職としての教師
第4回	組織としての学校
第5回	教員の採用と研修
第6回	シリーズ学校経営の実際 ( 附属中学校の取組 )
第7回	シリーズ学校経営の実際 ( 附属特別支援学校の取組 )
第8回	シリーズ学校経営の実際 ( 附属幼稚園の取組 )
第9回	シリーズ学校経営の実際 ( 附属小学校の取組 )
第10回	シリーズ学校経営の実際 ( 教育行政の仕組みと役割 )
第11回	シリーズ教育活動を考える ( 不登校児童生徒への対応と「いじめ」問題 )
第12回	シリーズ教育活動を考える ( 子ども理解と子ども支援のあり方 )
第13回	シリーズ新しい教育課題 ( 特別支援教育の実際と課題 )
第14回	シリーズ新しい教育課題 ( 同僚性 : グループワークを通じて )
第15回	先生になろう ( 模擬授業・場面指導のロールプレイング )

学期 / Semester	2018年度 / Academic Year 後期 / Second Semester	曜日・校時 / Day・Period	木 / Thu 3
開講期間 / Class period	2018/09/28 ~ 2019/03/31		
必修選択 / Required/Elective class	必修, 選択 / required, elective	単位数(一般/編入/留学) / Credits (general/admission/overseas)	1.0/1.0
時間割コード / Time schedule code	20181095180001	科目番号 / Subject code	10951800
科目ナンバリングコード / Numbering Code	EDMC10091421		
授業科目名 / Subject	子ども教育論 / Childhood Education		
編集担当教員 / Professor in charge of putting together the course syllabus	脇 信明 / Nobuaki Waki		
授業担当教員名 (科目責任者) / Professor in charge of the subject	脇 信明 / Nobuaki Waki		
授業担当教員名 (オムニバス科目等) / Professor(s)	脇 信明 / Nobuaki Waki		
科目分類 / Class type	学部モジュール科目, 教職免許科目・3欄		
対象年次 / Year	1	講義形態 / Class Form	講義 / Lecture
教室 / Class room	グローバル教育・学生支援課 文教スカイホール		
対象学生 (クラス等) / Target students	1年次生		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	nobuwaki@nagasaki-u.ac.jp		
担当教員研究室/Instructor office	225		
担当教員TEL/Tel	095-819-2388		
担当教員オフィスアワー/Office hours	月~木 昼休み 月曜日2限目 木曜日2限目		
授業の概要及び位置づけ/Course overview and relationship to other subjects	幼児、児童および生徒の発達過程における心理的特徴を理解する。 幼児、児童および生徒の発達をふまえた学びの特質と指導についての基本的理解を深める。		
授業到達目標/Course goals	幼児、児童および生徒の発達や学習の過程とその特徴等について理解する。		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力 (1つ以上3つまで) / Ability other than knowledge and skills acquired mainly through lessons (1 to 3)	主体性 / Autonomy 汎用的能力 / Generic Competence 倫理観 / Ethics 多様性の理解 / Understanding Diversity 協働性 / Cooperativeness 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法 / Lesson method to stimulate students' thinking	A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動   Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over B. 多角的に考えるために他者と関わる活動   Activities involving others to think from various perspectives C. 技能修得のために実践する活動   Activities to practice for acquiring skills D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動   Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法   Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above F. 教員からの講義のみで構成される   It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等 / Grading	以下の項目による総合評価 ワークシート・・・20% レポート・・・30% 筆記テスト・・・50% レポートについては、記述内容を重視するが、規程量の3 / 4程度未満の者、レポートの趣旨から外れているもの、その他不正なレポートには点数はないので留意すること。		
各回の授業内容・授業方法 (学習指導方法) / Class content and format	詳細は授業計画詳細を参照		
事前、事後学習の内容 / Preparation & Review			
キーワード / Key word	幼児, 児童, 発達, 学習, 学び, 資質・能力の育成		
教科書・教材・参考書 / Textbook, Teaching material, and Reference book	○テキスト 適宜プリントを配布するものとする。 ○参考書 内藤佳津夫ほか編『発達と学習』, 奈須正裕『資質・能力と学びのメカニズム』		
受講要件 (履修条件) / Prerequisites, etc.			
アクセシビリティ / Accessibility (for students with disabilities)			
備考 (URL) / Remarks (URL)			
学生へのメッセージ / Message for students			
授業計画詳細 / Course Schedule			
回 (日時) / Time (date and time)	授業内容 / Contents		

1	授業のオリエンテーション 子どもの成長・発達と教育との関わり
2	胎児期から乳児期の発達の特徴と理解
3	幼児期前期の発達の特徴と学びの理解
4	幼児期後期の発達の特徴と学びの理解
5	児童期の発達の特徴と学びの理解
6	青年期の発達と学びの理解
7	子どもの成長・発達と資質・能力の育ち
8	これまでの授業のポイントまとめ，筆記試験

学期 / Semester	2018年度 / Academic Year 後期 / Second Semester	曜日・校時 / Day・Period	木 / Thu 3
開講期間 / Class period	2018/09/28 ~ 2019/03/31		
必修選択 / Required/Elective class	必修, 選択, 自由 / required, elective, optional	単位数(一般/編入/留学) / Credits (general/admission/overseas)	1.0, 2.0/1.0
時間割コード / Time schedule code	20181095195401	科目番号 / Subject code	10951954
科目ナンバリングコード / Numbering Code	EDMC 10031_424		
授業科目名 / Subject	障害児教育論 / Education for Children with Disabilities		
編集担当教員 / Professor in charge of putting together the course syllabus	吉田 ゆり / Yuri Yoshida, 石川 衣紀 / Izumi Ishikawa, 高橋 甲介 / Takahashi Kosuke		
授業担当教員名 (科目責任者) / Professor in charge of the subject	吉田 ゆり / Yuri Yoshida		
授業担当教員名 (オムニバス科目等) / Professor(s)	吉田 ゆり / Yuri Yoshida, 石川 衣紀 / Izumi Ishikawa, 高橋 甲介 / Takahashi Kosuke		
科目分類 / Class type	教職に関する科目, 教職に関する科目 (第3欄), カリキュラム外科目, 教職に関する科目, 学部モジュール科目, 教職免許科目・3欄		
対象年次 / Year	1	講義形態 / Class Form	講義 / Lecture
教室 / Class room	教養教育A棟21 / RoomA-21		
対象学生 (クラス等) / Target students	全コース1年		
担当教員Eメールアドレス / E-mail address	yuyoshida@nagasaki-u.ac.jp (吉田)		
担当教員研究室 / Instructor office	教育学部本館2階		
担当教員TEL/Tel	095-819-2394 (吉田)		
担当教員オフィスアワー / Office hours	附属特別支援学校校長及び教頭については授業終了後。 学部教員については研究室単位の指示に従うこと。		
授業の概要及び位置づけ / Course overview and relationship to other subjects	障害児教育論は、障害のある子どもの特別支援教育に関する専門知識をわかりやすく講義し、あわせて附属特別支援学校での介護等体験実習に必要な事前学習を行うことをねらいとする。また、教職を目指す全学部学生が、近年の重点的な教育的課題として、インクルーシブ教育システムの構築と推進の動向と重要性の理解に到達できることを目的とした、基本的授業である。		
授業到達目標 / Course goals	附属特別支援学校での実習での基礎、及び介護等体験実習に必要な実践的な知識の理解・修得、さらに特別支援教育に関する教育学・心理学・生理病理学に関する理論的基礎知識を理解・修得すること。		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力 (1つ以上3つまで) / Ability other than knowledge and skills acquired mainly through lessons (1 to 3)	主体性 / Autonomy 汎用的能力 / Generic Competence 倫理観 / Ethics 多様性の理解 / Understanding Diversity 協働性 / Cooperativeness 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法 / Lesson method to stimulate students' thinking	A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動   / Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over B. 多角的に考えるために他者と関わる活動   / Activities involving others to think from various perspectives C. 技能修得のために実践する活動   / Activities to practice for acquiring skills D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動   / Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法   / Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above F. 教員からの講義のみで構成される   / It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等 / Grading	第5回の授業において小レポートを実施 (40点)。 第1回、第6回、第7回、第8回の4回はふりかえり用紙の記入と提出を求める (各5点 4、20点) 学期末レポート (40点)		
各回の授業内容・授業方法 (学習指導方法) / Class content and format	詳細は授業計画詳細を参照		
事前、事後学習の内容 / Preparation & Review	事前学習: オムニバスではあるが、独立した内容ではなく内容連続した講義であるので、毎回前までの資料を見直しておくことが望ましい。 事後学習: 理解しにくかった用語や事態については確認しておくこと。また、日頃から障害児の教育や支援に関わる報道、番組、記事などには敏感になり積極的に情報収集することを望む。		
キーワード / Key word	介護等体験実習、障害のある子どもの理解と支援		
教科書・教材・参考書 / Textbook, Teaching material, and Reference book	茂木俊彦: 障害児教育を考える (岩波新書) 文部科学省: 特別支援学校学習指導要領、小学校学習指導要領、中学校学習指導要領、高等学校学習指導要領。 他、適宜指示する。		
受講要件 (履修条件) / Prerequisites, etc.	特になし		

アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員（上記連絡先参照）または「アシスト広場」（障がい学生支援室）にご相談下さい。 アシスト広場（障がい学生支援室）連絡先 （TEL）095-819-2006 （FAX）095-819-2948 （E-MAIL）support@m1.nagasaki-u.ac.jp
備考（URL）/Remarks(URL)	
学生へのメッセージ/Message for students	特別支援学校教諭免許の履修を希望する学生には基礎の導入として、希望しない学生には、障害のある子どもへの理解を深めるにおける唯一の機会です。参加観察実習の基礎的位置づけとして積極的に学んでください。障害児を巡る時事問題については各自で敏感になってほしいです。
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
第1回	オリエンテーション 障害児の教育（特別支援教育）の現状と課題（学部教員：吉田）
第2回	附属特別支援学校教員（校長もしくは教頭）の講義 1
第3回	附属特別支援学校教員（校長もしくは教頭）の講義 2
第4回	附属特別支援学校教員（校長もしくは教頭）の講義 3
第5回	附属特別支援学校教員（校長もしくは教頭）の講義 4
第6回	学部教員（石川）：インクルージョンと特別支援教育（障害児の教育学領域から）
第7回	学部教員（高橋）：障害のある子どもの理解と支援（障害児の心理学領域から）
第8回	学部教員（吉田）：障害のある子どもの理解と支援（障害児の指導法・心理学領域から） 授業のまとめ（発達障害に関するアセスメント演習を含む）

学期 / Semester	2018年度 / Academic Year 後期 / Second Semester	曜日・校時 / Day・Period	水 / Wed 4
開講期間 / Class period	2018/09/28 ~ 2019/03/31		
必修選択 / Required/Elective class	必修, 選択 / required, elective	単位数(一般/編入/留学) / Credits (general/admission/overseas)	2.0/2.0
時間割コード / Time schedule code	20181095524601	科目番号 / Subject code	10955246
科目ナンバリングコード / Numbering Code	EDMC 10081_181		
授業科目名 / Subject	環境教育 / Environmental Education		
編集担当教員 / Professor in charge of putting together the course syllabus	星野 由雅 / Hoshino Yoshimasa, 藤本 登 / Fujimoto Noboru		
授業担当教員名 (科目責任者) / Professor in charge of the subject	星野 由雅 / Hoshino Yoshimasa		
授業担当教員名 (オムニバス科目等) / Professor(s)	星野 由雅 / Hoshino Yoshimasa, 藤本 登 / Fujimoto Noboru		
科目分類 / Class type	教科又は教職に関する科目, 教科又は教職に関する科目, 学部共通科目, 学部モジュール科目		
対象年次 / Year	2	講義形態 / Class Form	講義 / Lecture
教室 / Class room	[教育]本館3F第31講義室 / Room 31		
対象学生 (クラス等) / Target students	学部2, 3, 4年生		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	hoshino@nagasaki-u.ac.jp, n-fuji@nagasaki-u.ac.jp		
担当教員研究室/Instructor office	本館415室 (星野), 美術・技術棟111室 (藤本)		
担当教員TEL/Tel	095-819-2332 (星野), 095-819-2360 (藤本)		
担当教員オフィスアワー/Office hours	木曜日以外の昼休み (星野), 在室時は常時可 (藤本)		
授業の概要及び位置づけ/Course overview and relationship to other subjects	学校教育における環境教育の意義を踏まえた後, 環境と社会がどのように関わっているかを環境基本法などで大まかに捉え, 具体例として環境要因がどのように環境や人間に影響を与え, 社会が, それをどのように扱って行けば良いのかを自らの調査を基に考え, 発表する。また, ドイツの環境と社会との関わりを多角的に調べ, 日本の環境教育のあるべき姿を探る。環境教育の導入となる科目である。		
授業到達目標/Course goals	学校教育における環境教育の意義を述べるができるようになる。環境と社会と関わりについて, 法的な知識と理解度を高めると共に, 現代社会の中で環境要因が具体的にどのように環境や人間に影響を与え, 社会がそれをどのように扱って行けば良いのかを多角的に調べ, 環境教育のあるべき姿を述べるができるようになる。		
知識・技能以外に, この授業を通して身につけて欲しい力 (1つ以上3つまで) / Ability other than knowledge and skills acquired mainly through lessons (1 to 3)	主体性 / Autonomy 汎用的能力 / Generic Competence 倫理観 / Ethics 多様性の理解 / Understanding Diversity 協働性 / Cooperativeness 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法 / Lesson method to stimulate students' thinking	A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動   Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over B. 多角的に考えるために他者と関わる活動   Activities involving others to think from various perspectives C. 技能修得のために実践する活動   Activities to practice for acquiring skills D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動   Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法   Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above F. 教員からの講義のみで構成される   It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等 / Grading	授業中の小テスト, 課題レポート, 発表, 定期考査を行って評価する。評価割合は, 定期考査 50%, 授業中の小テスト 20%, 課題レポート 20%, 発表 10% とし, 総合点で評価する。合格基準は, 総合点で 60% 以上とする。		
各回の授業内容・授業方法 (学習指導方法) / Class content and format	詳細は授業計画詳細を参照		
事前・事後学習の内容 / Preparation & Review	環境に関する新聞記事を事前に調べておくこと。		
キーワード / Key word	環境基本法, 環境基準, 化学物質のリスク, ドイツの環境事情, 環境教育		
教科書・教材・参考書 / Textbook, Teaching material, and Reference book	参考書 1: 谷村賢治・齋藤 寛編著「環境知を育む」税務経理協会 参考書 2: 及川 紀久雄・北野 大共著「人間・環境・安全 暮らしの安全科学」共立出版 主要紙, 地方紙の環境に関する新聞記事		
受講要件 (履修条件) / Prerequisites, etc.	環境教育に興味関心の高い人を望む。		
アクセシビリティ / Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では, 全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため, 修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては, 担当教員 (上記連絡先参照) または「アシスト広場」(障がい学生支援室) にご相談下さい。 アシスト広場 (障がい学生支援室) 連絡先 (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948 (E-MAIL) support@ml.nagasaki-u.ac.jp		
備考 (URL) / Remarks (URL)			

学生へのメッセージ/Message for students	課題プリントの作成と各回の班内での議論と取りまとめを真摯に行うこと。学校現場で子どもたちに何を伝え、どのような活動を行なわせる（あるいは自主的な取組みに導く）には何が必要かを念頭に置いて、授業に取組んで欲しい。
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
第1回	(藤本)オリエンテーションとイントロダクション。 学校教育と環境教育の違い
第2回	(藤本)学校教育と環境教育の違い
第3回	(藤本)環境教育の授業構成
第4回	(藤本)ESD(持続発展教育)
第5回	(藤本)ESD(持続発展教育)
第6回	(星野)オリエンテーションとイントロダクション。授業内で演習プリントを課す。受講者自らが興味を持つ、環境問題を挙げる課題(事項と内容)プリントを課す。【課題:個人レポート】
第7回	(星野)本授業で取り上げる8つのテーマを選定する。テーマごとに班を編成し、発表順を決める。星野から環境法規及びドイツの環境事情に関するプレゼンテーション(45分程度)。【課題プリント(A4,1枚):テーマ1、例えばエネルギー問題について必須学習事項1つを調べ、かつ児童・生徒に学校の中で理解させたいこと、活動させたいことを述べる。】
第8回	(星野)テーマ1(例えばエネルギー問題)について、担当する班が全員でプレゼンテーションを行う。その後、すべての班でテーマ1に関して、必須学習事項、かつ児童・生徒に学校の中で理解させたいこと、活動させたいことについて話し合い、纏めたもの(ホワイトボード)を授業の最後に発表する。ホワイトボードの表記は各班で写真に撮りLACSに挙げる。【課題プリント(A4,1枚):テーマ2(例えば、生物多様性、絶滅危惧種)について必須学習事項を調べ、かつ児童・生徒に学校の中で理解させたいこと、活動させたいことを述べる。】
第9回	(星野)テーマ2(例えば生物多様性・絶滅危惧種)について、担当する班が全員でプレゼンテーションを行う。その後、すべての班でテーマ2に関して、必須学習事項、かつ児童・生徒に学校の中で理解させたいこと、活動させたいことについて話し合い、纏めたもの(ホワイトボード)を授業の最後に発表する。ホワイトボードの表記は各班で写真に撮りLACSに挙げる。【課題プリント(A4,1枚):テーマ3(例えば、地球温暖化)について必須学習事項を調べ、かつ児童・生徒に学校の中で理解させたいこと、活動させたいことを述べる。】
第10回	(星野)テーマ3(例えば地球温暖化)について、担当する班が全員でプレゼンテーションを行う。その後、すべての班でテーマ3に関して、必須学習事項、かつ児童・生徒に学校の中で理解させたいこと、活動させたいことについて話し合い、纏めたもの(ホワイトボード)を授業の最後に発表する。ホワイトボードの表記は各班で写真に撮りLACSに挙げる。【課題プリント(A4,1枚):テーマ4(例えば、ゴミ問題)について必須学習事項を調べ、かつ児童・生徒に学校の中で理解させたいこと、活動させたいことを述べる。】
第11回	(星野)テーマ4(例えばゴミ問題)について、担当する班が全員でプレゼンテーションを行う。その後、すべての班でテーマ4に関して、必須学習事項、かつ児童・生徒に学校の中で理解させたいこと、活動させたいことについて話し合い、纏めたもの(ホワイトボード)を授業の最後に発表する。ホワイトボードの表記は各班で写真に撮りLACSに挙げる。【課題プリント(A4,1枚):テーマ5(例えば、大気汚染)について必須学習事項を調べ、かつ児童・生徒に学校の中で理解させたいこと、活動させたいことを述べる。】
第12回	(星野)テーマ5(例えば大気汚染)について、担当する班が全員でプレゼンテーションを行う。その後、すべての班でテーマ5に関して、必須学習事項、かつ児童・生徒に学校の中で理解させたいこと、活動させたいことについて話し合い、纏めたもの(ホワイトボード)を授業の最後に発表する。ホワイトボードの表記は各班で写真に撮りLACSに挙げる。【課題プリント(A4,1枚):テーマ6(例えば、諸外国の環境事情)について必須学習事項を調べ、かつ児童・生徒に学校の中で理解させたいこと、活動させたいことを述べる。】
第13回	(星野)テーマ6(例えば諸外国の環境事情)について、担当する班が全員でプレゼンテーションを行う。その後、すべての班でテーマ6に関して、必須学習事項、かつ児童・生徒に学校の中で理解させたいこと、活動させたいことについて話し合い、纏めたもの(ホワイトボード)を授業の最後に発表する。ホワイトボードの表記は各班で写真に撮りLACSに挙げる。【課題プリント(A4,1枚):テーマ7(例えば、水質汚濁)について必須学習事項を調べ、かつ児童・生徒に学校の中で理解させたいこと、活動させたいことを述べる。】
第14回	(星野)テーマ7(例えば水質汚濁)について、担当する班が全員でプレゼンテーションを行う。その後、すべての班でテーマ7に関して、必須学習事項、かつ児童・生徒に学校の中で理解させたいこと、活動させたいことについて話し合い、纏めたもの(ホワイトボード)を授業の最後に発表する。ホワイトボードの表記は各班で写真に撮りLACSに挙げる。【課題プリント(A4,1枚):テーマ8(例えば、放射線・原子力発電)について必須学習事項を調べ、かつ児童・生徒に学校の中で理解させたいこと、活動させたいことを述べる。】
第15回	(星野)テーマ8(例えば放射線・原子力発電)について、担当する班が全員でプレゼンテーションを行う。その後、すべての班でテーマ8に関して、必須学習事項、かつ児童・生徒に学校の中で理解させたいこと、活動させたいことについて話し合い、纏めたもの(ホワイトボード)を授業の最後に発表する。ホワイトボードの表記は各班で写真に撮りLACSに挙げる。
第16回	定期試験(テーマ1からテーマ8に関する知識とそれを活用した学校における授業実践について)



学期 / Semester	2018年度 / Academic Year 前期 / First Semester	曜日・校時 / Day・Period	水 / Wed 3
開講期間 / Class period	2018/04/01 ~ 2018/09/27		
必修選択 / Required/Elective class	必修, 選択, 選択必修 / required, elective,	単位数(一般/編入/留学) / Credits (general/admission/overseas)	2.0/2.0
時間割コード / Time schedule code	20181095530701	科目番号 / Subject code	10955307
科目ナンバリングコード / Numbering Code	EDMC 10071_422		
授業科目名 / Subject	国際理解教育論 / Introduction to the Theory of International Education		
編集担当教員 / Professor in charge of putting together the course syllabus	楠山 研 / Kusuyama Ken, 井手 弘人 / Ide Hiroto		
授業担当教員名 (科目責任者) / Professor in charge of the subject	楠山 研 / Kusuyama Ken		
授業担当教員名 (オムニバス科目等) / Professor(s)	楠山 研 / Kusuyama Ken, 井手 弘人 / Ide Hiroto		
科目分類 / Class type	教科又は教職に関する科目, 教科又は教職に関する科目, 学部モジュール科目		
対象年次 / Year	2	講義形態 / Class Form	講義 / Lecture
教室 / Class room	グローバル教育・学生支援課 文教スカイホール		
対象学生 (クラス等) / Target students			
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	kusuyama@nagasaki-u.ac.jp		
担当教員研究室/Instructor office			
担当教員TEL/Tel			
担当教員オフィスアワー/Office hours	まずメールで連絡すること		
授業の概要及び位置づけ/Course overview and relationship to other subjects	諸外国の教育や学校の様子を知り、日本と異なっている部分があるのについて、社会背景を含めて考えます。 またいくつかの国や地域については詳細に学習し、制度にとどまらず実際の部分についても考え、理解を深めていきます。 同時にこうした学習を通じて、日本の教育の特徴を考えるとともに、日本の中にも言語や文化をめぐる様々な問題があることを知り、解決策を探っていきます。		
授業到達目標/Course goals	1. 諸外国の教育や学校の様子や、そうした状況が生み出される背景を理解できる。 2. 日本においても言語や文化をめぐる問題があることを理解できる。 3. これらを踏まえて、日本の教育や学校の特徴を把握し、日本の教育について考えることができる。		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力 (1つ以上3つまで) / Ability other than knowledge and skills acquired mainly through lessons (1 to 3)	主体性 / Autonomy 汎用的能力 / Generic Competence 倫理観 / Ethics 多様性の理解 / Understanding Diversity 協働性 / Cooperativeness 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法 / Lesson method to stimulate students' thinking	A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動   / Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over B. 多角的に考えるために他者と関わる活動   / Activities involving others to think from various perspectives C. 技能修得のために実践する活動   / Activities to practice for acquiring skills D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動   / Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法   / Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above F. 教員からの講義のみで構成される   / It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等 / Grading	各担当教員が授業開始時に説明を行います。		
各回の授業内容・授業方法 (学習指導方法) / Class content and format	詳細は授業計画詳細を参照		
事前、事後学習の内容 / Preparation & Review	事前学習 外国の教育や日本の国内における多様な教育について、調べておく 事後学習 授業で学んだことが、今後、学生・教員としてどのように生かせるか、検討する		
キーワード / Key word	諸外国の教育、内なる国際化		
教科書・教材・参考書 / Textbook, Teaching material, and Reference book	教科書は使用しません。参考書は授業中に適宜紹介します。		
受講要件 (履修条件) / Prerequisites, etc.	特にありません		
アクセシビリティ / Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員(上記連絡先参照)または「アシスト広場」(障がい学生支援室)にご相談下さい。 アシスト広場(障がい学生支援室)連絡先 (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948 (E-MAIL) support@m1.nagasaki-u.ac.jp		
備考 (URL) / Remarks (URL)			
学生へのメッセージ / Message for students	あいさつ、掃除、授業風景、掲示物... 日常の学校空間での「あたりまえ」ひとつひとつが本当に「あたりまえ」なのが、意識しておきましょう。		

授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
1	オリエンテーション
2	諸外国の教育が共通して抱えている課題
3	同じ目的、異なる方法(教育制度からみえてくるもの)
4	同じ目的、異なる方法(カリキュラムからみえてくるもの)
5	同じ方法、異なる目的(各国の教育実践をめぐって1)新しい教科への対応
6	同じ方法、異なる目的(各国の教育実践をめぐって2)改革への対応
7	国境を越える子どもたち
8	海外にある学校と日本にある学校
9	国際理解教育の実践前提(1) - 東アジアにおける「知」の国家戦略とナショナル・カリキュラムデザイン
10	国際理解教育の実践前提(2) - 「内なる『知』」と「外への『知』」: アイデンティティとコンピテンシー
11	国際理解教育の実践(1) - 歴史教育対話: 初等教育における「エティック」と「イーミック」の取り扱い
12	国際理解教育の実践(2) - 初等教育における「トランスナショナル・リテラシー」の授業デザイン
13	国際理解教育の実践(3) 演習: 総合的な学習の時間「国際理解」を想定したロールプレイ(模擬授業)
14	事例研究(外国の教育を知ること)
15	学生として私たちができること、できないこと

学期 / Semester	2018年度 / Academic Year 前期 / First Semester	曜日・校時 / Day・Period	月 / Mon 2
開講期間 / Class period	2018/04/01 ~ 2018/09/27		
必修選択 / Required/Elective class	必修, 選択 / required, elective	単位数(一般/編入/留学) / Credits (general/admission/overseas)	2.0//2.0
時間割コード / Time schedule code	20181095559801	科目番号 / Subject code	10955598
科目ナンバリングコード / Numbering Code	EDMC 10021_412		
授業科目名 / Subject	教育心理学 / Educational Psychology		
編集担当教員 / Professor in charge of putting together the course syllabus	加来 秀俊, ミテイ		
授業担当教員名 (科目責任者) / Professor in charge of the subject	加来 秀俊		
授業担当教員名 (オムニバス科目等) / Professor(s)	加来 秀俊, ミテイ		
科目分類 / Class type	学部モジュール科目, 教職免許科目・3欄		
対象年次 / Year	1	講義形態 / Class Form	講義 / Lecture
教室 / Class room	グローバル教育・学生支援課 文教スカイホール		
対象学生 (クラス等) / Target students	1年		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	kaku@nagasaki-u.ac.jp		
担当教員研究室/Instructor office	教育学部2階(222室)		
担当教員TEL/Tel	095-819-2396		
担当教員オフィスアワー/Office hours	随時。メールにて問い合わせのこと。		
授業の概要及び位置づけ/Course overview and relationship to other subjects	児童・生徒への指導と援助を適切に遂行するには、児童・生徒の心身の発達、学習のメカニズムや動機づけ、健全なパーソナリティ等に関する教育心理学的知識についての習得が必要とされる。教育現場での課題を取りあげ、教育の実践に役立つことを視野に入れて考え、教育心理学の基礎と実践を学ぶ。テーマにより視聴覚教材を利用して、アクティブラーニングを取り入れる。		
授業到達目標/Course goals	教職を志す者にとって重要なポイントである、(1)教育の対象である幼児、児童・生徒の発達について、(2)教育の背後にある学習の過程と動機づけについて理解する。また、それらが教育の実践とどのようなかわりを持つのかを理解できるようになる。		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力(1つ以上3つまで)/Ability other than knowledge and skills acquired mainly through lessons (1 to 3)	主体性 / Autonomy 汎用的能力 / Generic Competence 倫理観 / Ethics 多様性の理解 / Understanding Diversity 協働性 / Cooperativeness 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法 / Lesson method to stimulate students' thinking	A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動   Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over B. 多角的に考えるために他者と関わる活動   Activities involving others to think from various perspectives C. 技能修得のために実践する活動   Activities to practice for acquiring skills D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動   Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法   Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above F. 教員からの講義のみで構成される   It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等/Grading	コメントシート課題(1点×15回=15点)+レポート課題(20点)+定期試験(65点)=合計100点のうち60点以上を合格とする。		
各回の授業内容・授業方法(学習指導方法)/Class content and format	詳細は授業計画詳細を参照		
事前・事後学習の内容/Preparation & Review	予習、復習に教育心理学に関連するキーワードをノートにまとめていく。		
キーワード/Key word	発達、教授・学習、パーソナリティと適応、測定評価		
教科書・教材・参考書/Textbook, Teaching material, and Reference book	参考書は必要に応じて紹介する。参考資料は必要に応じて配付する。		
受講要件(履修条件)/Prerequisites, etc.	特になし。		
アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員(上記連絡先参照)または「アシスト広場」(障がい学生支援室)にご相談下さい。 アシスト広場(障がい学生支援室)連絡先 (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948 (E-MAIL) support@ml.nagasaki-u.ac.jp		
備考(URL)/Remarks(URL)			
学生へのメッセージ/Message for students	講義後にコメントを求め、課題についてレポートを提出してもらうことがある。		
授業計画詳細 / Course Schedule			

回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
第1回	教育心理学とは
第2回	子どもの発達と教育
第3回	発達のプロセス
第4回	学習の心理
第5回	教授・学習過程
第6回	学習の動機づけ
第7回	パーソナリティ理論
第8回	パーソナリティと適応
第9回	いじめと不登校
第10回	知能と学力
第11回	教育評価
第12回	学級集団の力学
第13回	発達障害とは
第14回	発達障害児の心理と教育
第15回	子ども理解と教師の心理
第16回	定期試験